

ところが、「知識」があれば乱用しないかというところ、そうとも言えない面がある。かつての調査では、往々にして、害知識は有機溶剤乱用経験者群の方が高いという傾向が認められていた⁴⁾⁹⁾¹²⁾¹³⁾¹⁹⁾²⁰⁾。2008年調査でも、有機溶剤乱用の繰り返しの結果としてのフラッシュバックの周知度は、有機溶剤経験女子群で最も高いという結果であったが、すべての害知識の周知率が非経験者群の方で高くなったのは、2010年調査が初めてである（有意差は別として）。2014年調査でもこの点は維持されていた。

経年的に見ると、2002年調査では、急性中毒死、歯の腐食、多発神経炎に関する男子、精神病に関する男女では、非経験者群の方で「知っている」を選んだ者が多くなり、それ以外の害知識でも、経験者群VS非経験者群で有意差が認められない項目が出てきた。さらに、2004年調査では、その傾向がさらに進み、急性中毒死、多発神経炎、精神病では、男女ともに非経験者群の方で「知っている」を選んだ者が多いと言った結果になった。これは、「害を知らない者が乱用しやすい」という仮説（薬物乱用防止教育はこの仮説を根拠としているわけであるが）があるとすれば、期待される結果であり、これまでの薬物乱用防止教育推進による成果である可能性が考えられる。

図10は害知識周知率の年次推移を示している。2006年までは、ほとんどの害知識の周知率が明かな増加傾向にあった。しかし、2008年調査ではすべての害について「知っている」と答えた者の割合は低下し、2014年調査でも、ほとんどの害について、その傾向が続いていることが確認された。このことは、害知識の周知率は2006年をピークに低下傾向にあるということであり、憂慮すべき結果である。もう一度、薬物乱用防止教育がなされているかを確認しながら、薬物乱用防止教育を押し進める必要がある。同時に、周知度の低い害（特に急性中毒死）については、意識的に教えて行く必要がある。

なお、この薬物乱用防止教育には、「知識が行動に結びつくとは限らない」という大きな課題が常に存在するわけで、これに関しては、知識教育を行った上で、次の段階として、薬物依存からの回復の苦しみをドキュメンタリー形式で紹介したビデオ（平成9年度文部省制作「なくした自由」）などの活用が期待されることは従来通りである。

5. 大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」の乱用経験

そもそも、大麻、覚せい剤の生涯経験率は、調査結果上、これまで同様に「経験あり」よりは「無回答」の方が数字が大きく（表51、表56）、また、2012年調査で初めて調べた「脱法ドラッグ」の生涯経験率（表63）も同様のため、参考データとした方が妥当と思われるが、参考データは参考データなりに推移を見る必要がある。

図11に見るように、男女全体での大麻の生涯経験率は、1998年調査以降、確実に減少傾向にあるが、2014年調査でも横ばいながらそれを維持していた。

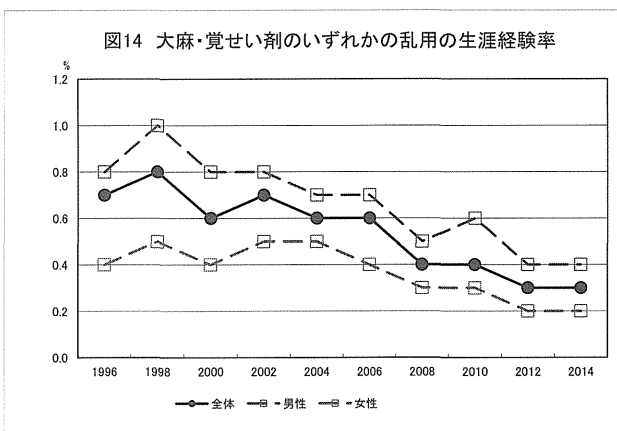
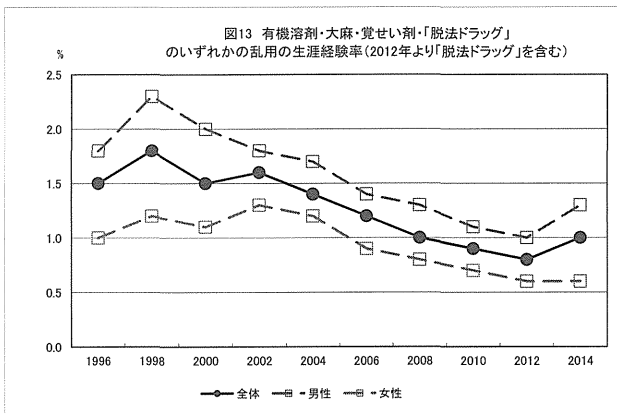
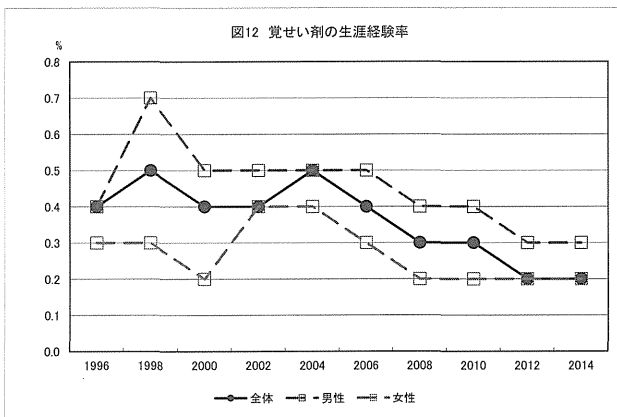
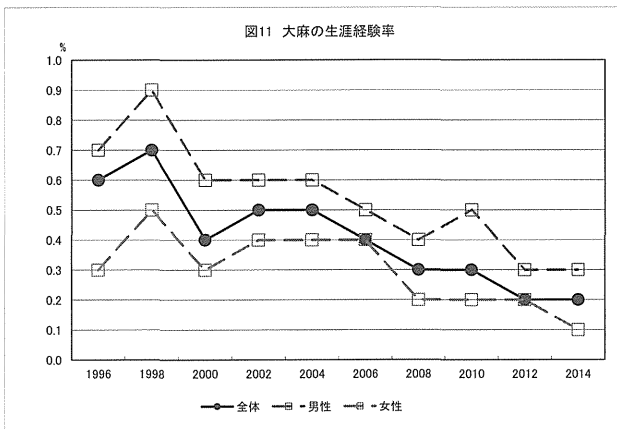
図12は覚せい剤の生涯経験率の推移を示しているが、ここでも大麻同様、1998年調査以降、確実に減少傾向にあるが、2014年調査でも横ばいながらそれを維持していた。

第3次覚せい剤乱用期の特徴の一つは、若年層までへの乱用の拡大であるが、有機溶剤乱用の減少（図1）に比べて、大麻及び覚せい剤の乱用はなかなか減少しなかったが、大麻では2006年調査から、覚せい剤は2008年調査から減少傾向を見せた。今回の結果も、その傾向を維持するものであった。

ところで、薬物乱用状況を巡る今日的トピックスは、2011年下半年から急激に社会問題化した脱法ハーブを含む「脱法ドラッグ」問題であろう。2012年調査では、この「脱法ドラッグ」の乱用について、初めて調査し、中学生の0.2%の者に「脱法ドラッグ」乱用の生涯経験があるという結果であった（前述の通り、参考データではあるが）。

今回の2014年調査でも「脱法ドラッグ」乱用の生涯経験を調べた。

その結果、「脱法ドラッグ」の生涯経験率（表63）は、男子で0.3%（括弧内は2012年調査の結果である。0.3%）（1年生0.2%（0.2%）、2年生0.3%（0.2%）、3年生0.3%（0.5%））、女子で0.1%（0.2%）（1年生0.1%（0.1%）、2年生0.1%（0.1%）、3年生0.1%（0.3%））、全体で0.2%（0.2%）（1年生0.1%（0.1%）、2年生0.2%（0.2%）、3年生0.2%（0.4%））であった。この結果は、2012年調査で今後が危惧された「脱法ドラッグ」乱用の拡大が何とか阻止できていることを示唆している。



「脱法ドラッグ」の生涯経験率は、有機溶剤よりは低く、大麻、覚せい剤と同じであるが、経験者数の多い順では、覚せい剤>「脱法ドラッグ」>大麻ということになる。2012年調査では、大麻>「脱法ドラッグ」>覚せい剤の順であった。ただし、それぞれの人数の差は極めて少なく、この順番を決めつけることはできない。

「脱法ドラッグ」は文字通り「脱法」であり、その使用者を検挙することはできず、検挙者数としてその実態を示すことができないため、本調査のような調査研究以外、その乱用実態を推測するデータを得ることはできない。

この「脱法ドラッグ」は2014年の「取り締まりの強化」により、2014年秋以降、劇的に社会問題としての終息を見せている感があるが、「脱法」という性質上、今後、大麻、覚せい剤以上に、乱用薬物の「主役」になる可能性があり、その動向に注意してゆく必要がある。

以上のように大麻、覚せい剤、「脱法ドラッグ」についての生涯経験率は参考データであるため、利用法に限界はあるものの、今日の薬物乱用状況を考えるためには貴重なデータであると考えている。

なお、参考までに有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの薬物の生涯経験率と大麻・覚せい剤のいずれかの薬物の生涯経験率を表97(図13)、表98(図14)に示した。有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの薬物の生涯経験率は順調に減少していたが、それは有機溶剤乱用の生涯経験率の低下のせいであり、逆に、有機溶剤の生涯経験率が上昇した2014年調査では、有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの薬物の生涯経験率は上昇してしまった。有機溶剤を除いた大麻・覚せい剤のいずれかの薬物の生涯経験率は2012年と同じであり、経年的には減少傾向を維持していた。

6. 大麻・覚せい剤乱用による医学的害

大麻、覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度は、表54、表59の通りであるが、その推移を示したものが図15、16である。

大麻による精神病・無動機症候群に関しては、1998年調査の女性を除けば、2000年調査までは、男女ともに有機溶剤乱用群の方が周知率が有意に

表95 大麻乱用の生涯経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.7	0.4	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.4	0.5	0.6	108	53,271
1998	0.9	0.8	0.8	1.0	0.5	0.5	0.4	0.5	0.7	0.6	0.6	0.8	148	70,846
2000	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5	0.5	140	61,477
2002	0.6	0.4	0.8	0.7	0.4	0.3	0.6	0.4	0.5	0.4	0.7	0.5	149	62,255
2004	0.6	0.4	0.7	0.7	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5	0.6	147	64,875
2006	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,895
2008	0.4	0.3	0.4	0.6	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.5	133	51,979
2010	0.5	0.3	0.5	0.6	0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.3	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	124	54,073
2014	0.3	0.2	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	129	55,217

表96 覚せい剤乱用の生涯経験率の推移 (%) (「無回答」を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.4	0.3	0.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	108	53,197
1998	0.7	0.5	0.7	0.8	0.3	0.2	0.3	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	148	70,819
2000	0.5	0.5	0.5	0.6	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	140	61,457
2002	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	149	62,181
2004	0.5	0.4	0.6	0.7	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	147	64,886
2006	0.5	0.4	0.6	0.6	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.5	138	55,841
2008	0.4	0.3	0.4	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	133	51,972
2010	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.4	0.4	121	47,475
2012	0.3	0.2	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	124	53,908
2014	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	129	55,047

表97 有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」のいずれかの乱用の生涯経験率 (%)

ただし、「脱法ドラッグ」は2012年以降。(無回答を除いて計算したもの)

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1990														
1992														
	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	1.8	1.5	1.8	2.2	1.0	0.9	1.0	1.0	1.5	1.3	1.5	1.7	108	54,136
1998	2.3	1.8	2.1	2.9	1.2	1.2	1.1	1.3	1.8	1.5	1.6	2.2	148	71,245
2000	2.0	1.7	2.0	2.3	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.4	1.5	1.8	140	61,481
2002	1.8	1.7	1.9	1.9	1.3	1.2	1.4	1.3	1.6	1.5	1.7	1.6	149	61,668
2004	1.7	1.4	1.5	1.9	1.2	1.1	1.2	1.2	1.4	1.2	1.3	1.6	147	64,314
2006	1.4	1.3	1.4	1.6	0.9	0.8	0.8	1.1	1.2	1.1	1.1	1.3	138	55,387
2008	1.3	1.0	1.2	1.7	0.8	0.7	0.6	1.0	1.0	0.8	0.9	1.4	133	51,515
2010	1.1	0.9	1.1	1.2	0.7	0.6	0.8	0.8	0.9	0.7	1.0	1.0	121	46,570
2012	1.0	0.9	0.9	1.2	0.6	0.4	0.5	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	124	53,462
2014	1.3	1.3	1.4	1.3	0.6	0.5	0.6	0.6	1.0	0.9	1.0	1.0	129	54,451

表98 大麻・覚せい剤のいずれかの乱用の生涯経験率（％）

（無回答を除いて計算したもの）

	男性	1年生	2年生	3年生	女性	1年生	2年生	3年生	全体	1年生	2年生	3年生	校数	人数
1996	0.8	0.5	0.8	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.7	0.5	0.7	0.8	108	54,116
1998	1.0	0.9	1.0	1.2	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.7	0.8	0.9	148	71,245
2000	0.8	0.6	0.7	0.9	0.4	0.3	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.6	140	61,481
2002	0.8	0.6	0.9	0.8	0.5	0.4	0.6	0.6	0.7	0.5	0.8	0.7	149	61,668
2004	0.7	0.5	0.8	0.8	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.5	0.6	0.7	147	64,610
2006	0.7	0.6	0.7	0.8	0.4	0.3	0.3	0.6	0.6	0.5	0.5	0.7	138	55,627
2008	0.5	0.4	0.5	0.7	0.3	0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	0.4	0.6	133	51,751
2010	0.6	0.4	0.6	0.7	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.3	0.5	0.5	121	46,760
2012	0.4	0.3	0.3	0.5	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4	124	53,824
2014	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	129	54,943

高かった。しかし、2002年調査では、初めて有機溶剤乱用経験の有無による有意差がなくなり、2004年調査では、わずかではあるが、有機溶剤非経験者群の方が、「知っている」者の割合が高くなった（ただし有意差なし）。ところが、2006年調査では、男子では再び「知っている」と答えた者は有機溶剤経験者群の方が多くなってしまった。2008年調査で、男女ともに「知っている」と答えた者は非経験者群の方が多くなったが（有意差はない）、2010年もそれを維持できた（男子で有意差あり）。2012年調査では、男女ともに初めて有意差をもってその傾向を認めたが、逆に、周知率自体は性別に関わりなく大幅に低下してしまった。2014年調査では、周知率は低いままで、乱用経験の有無間での有意差もなくなってしまった。

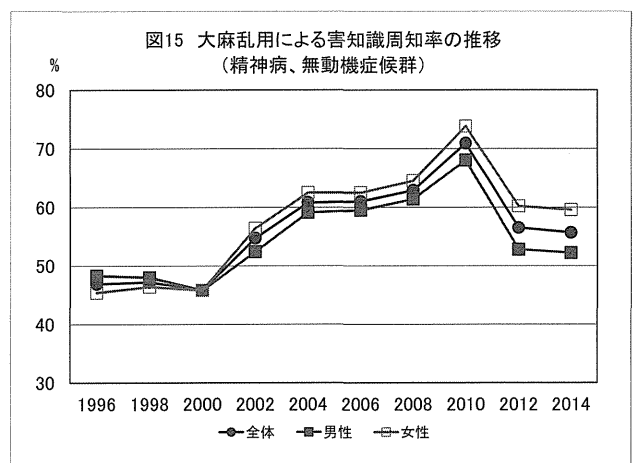
また、覚せい剤乱用による精神病・フラッシュバック現象に関しては、男子では1996年調査、1998年調査では有機溶剤乱用群での周知率が有意に高かったが、2000年調査、2002年調査では、有意差こそないものの、有機溶剤乱用非経験者群の方がわずかに周知率は高いというように変化した。しかし、2004年調査では、再び、有機溶剤経験者群の方が「知っている者」の割合は高いという結果にもどってしまった。2006年調査以降は「知っている」と答えた者は、有機溶剤非経験者群の方が多という形に戻り、前回の2010年調査でも、それが維持できた（男女ともに有意差有り）。2012年調査では、その傾向は維持できたが、女子では有意差がなくなると同時に、周知率自体は性別に関わりなく減少してしまった。2014年調査では、周知率は低いままで、乱用経験の有無間での有意

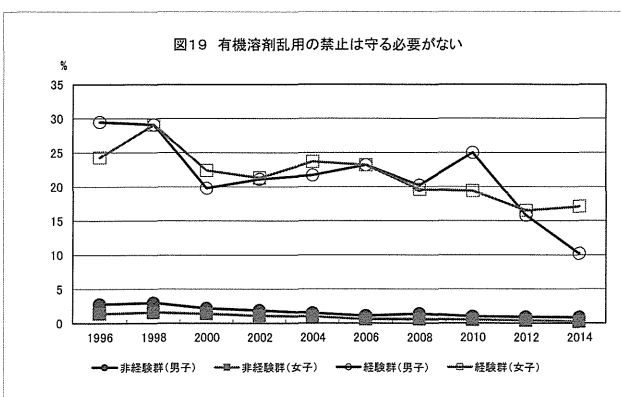
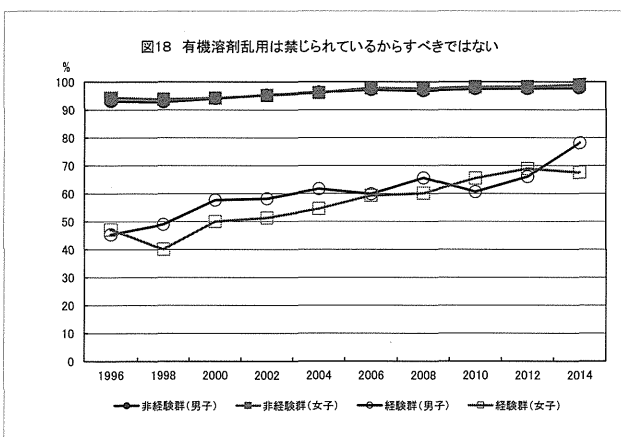
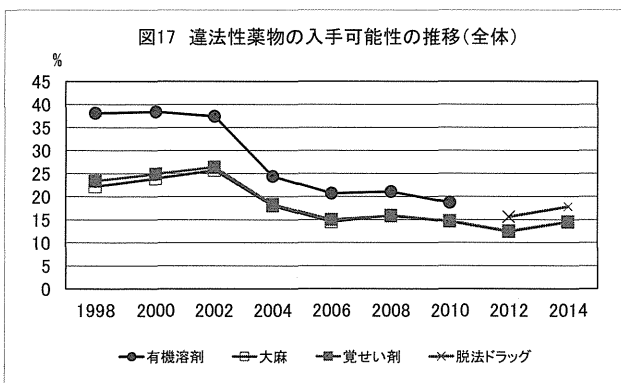
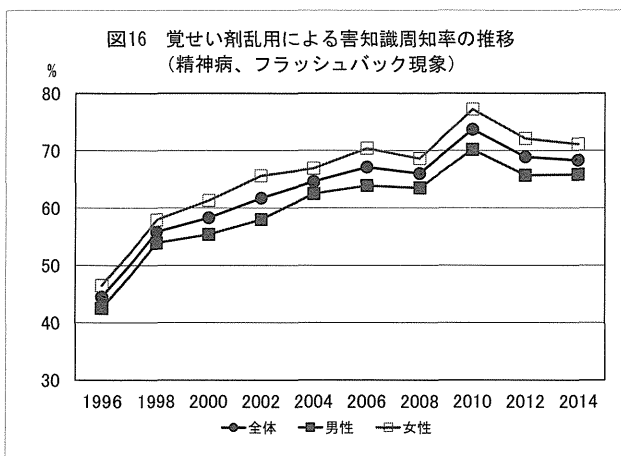
差もないままである。

2010年調査での大麻、覚せい剤の害知識の周知率は大幅に上昇について、当研究者らは、その理由として、薬物乱用防止教育の影響と言うよりは（中学生に対する薬物乱用防止教育上の変化があったとは考えにくい）、2008年秋の角界・大学生における大麻乱用報道、2009年夏の某有名女優による覚せい剤事件の影響の可能性が高いと推定した²⁹⁾が、2012年以降の周知率の低下（特に大麻については憂慮すべき低下である。有機溶剤乱用による害知識の低下（図10）も併せて、どうも薬物乱用防止教育への力の注ぎ具合が危惧される）ところである。

7. 違法薬物の入手可能性の比較

1993年以来、一部の外国人を中心に、大麻および覚せい剤が、大都会では路上で密売されるようになり、第3次覚せい剤乱用期を作り出した⁸⁾。そ





の影響と思われるが、1996年の1年間に覚せい剤取締法により検挙された高校生の数は対前年度比2.3倍と激増した⁸⁾。いくら有機溶剤乱用の勢いが鈍ったと言っても、この現実、わが国の薬物汚染状況の深刻化を象徴する以外の何物でもない。

表87、表88、表89は、本調査による「脱法ドラッグ」、違法薬物の入手可能性についての結果である。

有機溶剤は日常生活上の必需品であり、その気になれば入手は極めて簡単である。しかし、入手可能を選んだ者の割合は2004年以降激減しており、中学生総体としての有機溶剤乱用への関心のなさを反映している可能性がある(図17。ただし2012年調査以降は調査項目数の関係で調査していない)。ただし、大麻、覚せい剤の入手可能性に比べれば、有機溶剤の入手可能性が最も高いことは、事実一致するところである。

大麻及び覚せい剤の入手可能性は、図17に見るように、今回の2004年調査では激減している。これは、この間の取締りの厳しさの反映の可能性がある。ただし、この入手可能性を、有機溶剤乱用経験の有無を軸に見た場合(表88、表89)、大麻の入手可能性では、「簡単に手に入る」「少々苦勞するが、なんとか手に入る」を選んだ者の割合を入手可能群とすると、その割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で16.3%、女子で12.2%であるのに対して、経験者群では、男子で33.1%、女子で38.7%と明らかに異なっていた($p < 0.01$) (表88)。このことは覚せい剤の入手可能性についても同様であった(表89)。

これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用するということは、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。

一方、「脱法ドラッグ」の入手可能性であるが、図17に示すように、調べなくなった有機溶剤の入手可能性を示しているかのような値である。この結果は、後述する「ゲイトウェイ・ドラッグ」の視点から論じるが、「脱法ドラッグ」が有機溶剤に変わって、ゲイトウェイ・ドラッグになる可能性を示唆するものである。

8. 薬物乱用に対する法の遵守性

わが国の規制薬物乱用が、多くの国に比べて少ない背景には、国民の法に対する遵守性の高さがあるのではないかと本研究者らは推定している。

喫煙については全体の約4%（表30）の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は0.9%（表8）に過ぎず、大麻では0.5%（表53）であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている（覚せい剤に関しては、尋ねていない）。

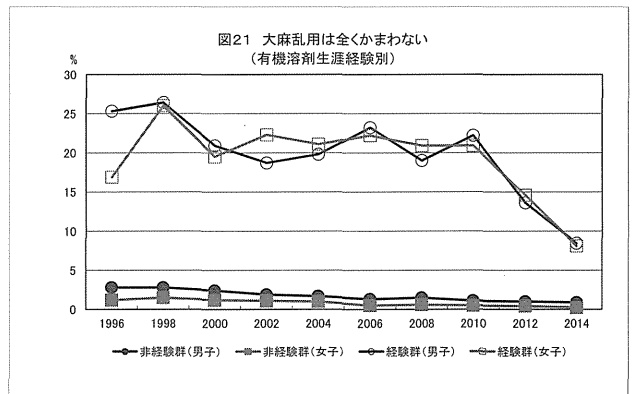
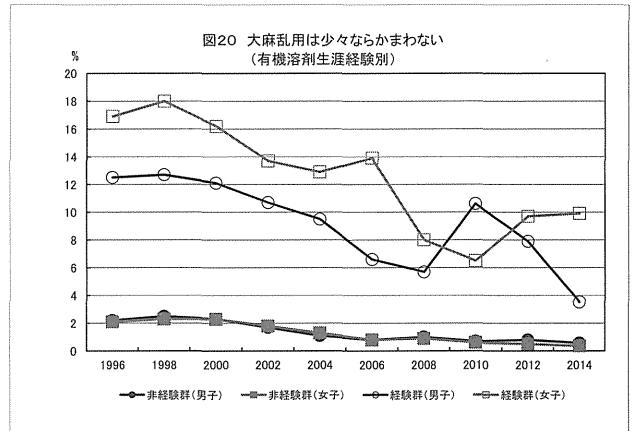
図18、19は法で禁じられている有機溶剤の乱用についてどう思うかという問いに対する回答の年次推移である。有機溶剤非経験者群と経験者群とで結果には大きな開きがあるが、「乱用すべきでない」（図18）と答えた者の割合は、男女ともに有機溶剤の乱用経験に関わらず経年的には増加している。また、「法を守る必要はない」と答えた者の割合も経年的には低下している。

図20、21は大麻乱用をどう思うかに対する回答の年次推移である。「少々ならかまわない」と答えた者の割合は、2008年調査の有機溶剤経験者群男子で上昇したが、その後は再び減少しており、全体としてのトレンドは減少傾向にある。この法の遵守尊重傾向は、「大麻乱用は全くかまわない」とした者の割合でも確認できる（図21）。

9. 「ゲイトウェイ・ドラッグ」の視点から

表52と表57に示したように、「シンナー遊び」の経験と大麻・覚せい剤乱用の経験とには、強い結びつきがあり（図22、23）、わが国では依然として有機溶剤が大麻・覚せい剤への「ゲイトウェイ・ドラッグ」となっている可能性が強く示唆される²⁾²¹⁾。

また、中学生における喫煙及び飲酒が「シンナー遊び」への「エントリー・ドラッグ」になっている可能性が高いことは以前より指摘してきたが²⁾⁴⁾⁵⁾¹³⁾²¹⁾、表46及び表48の結果は、大人が同伴しない飲酒と「シンナー遊び」との結びつきの強さと、喫煙経験と「シンナー遊び」との結びつきの強さ（図24）を再確認させるものである。この背景には、有機溶剤乱用同様に、家庭環境、「仲間」関



係等、薬物乱用の背後にある人間関係が大きな要因となっていると推定できる。

中学生における喫煙・飲酒・薬物乱用防止を行う際には、喫煙・飲酒・薬物乱用といった表面的行為に目を奪われすぎることなく、その背後に潜む家庭環境、「仲間」関係等の人間関係に目を注ぐことが重要であろう¹⁵⁾。

ところで、2011年以降社会問題化した「脱法ドラッグ」であるが、図25は喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係を示し、図26は「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係を示している。これらの関係は、それぞれ、喫煙経験と「シンナー遊び」との関係（図24）、及び、「シンナー遊び」経験と大麻ないしは覚せい剤乱用との関係（図22、図23）とほとんど同じ結果である。

それ以上に驚くべきことは、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻・覚せい剤乱用経験の高さ（図27、図28）である。「シンナー遊び」経験者における大麻乱用経験者の割合は、男子で10.6%、女子で16.2%であり（図22）、「シンナー遊び」経験者における覚せい剤乱用経験者の割合は、男子で10.2%、女子で17.1%であり（図23）であるが、「脱

図22 有機溶剤乱用経験と大麻乱用経験 (2014年)

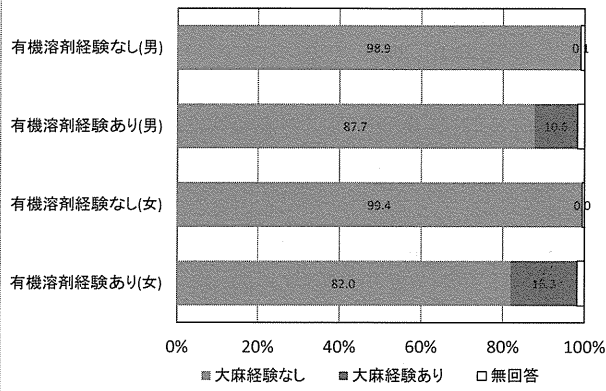


図25 喫煙経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係 (2014)

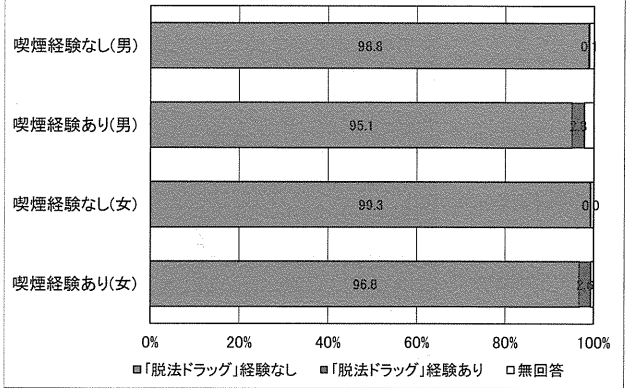


図23 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用経験との関係 (2014)

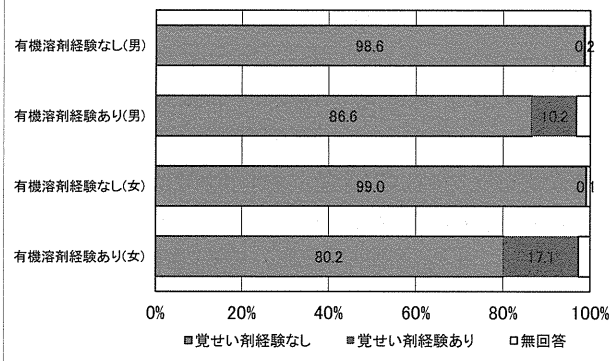


図26 「シンナー遊び」経験と「脱法ドラッグ」乱用との関係 (2014)

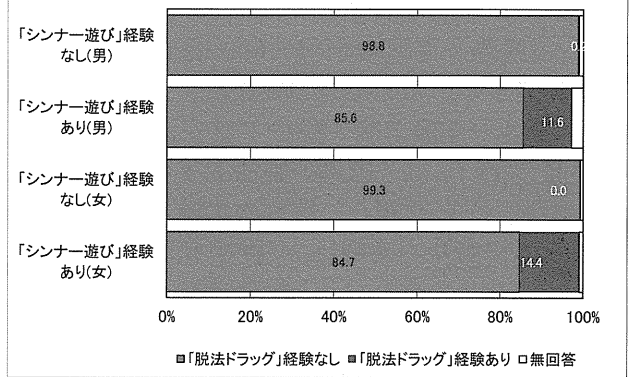


図24 喫煙経験と「シンナー遊び」との関係 (2014)

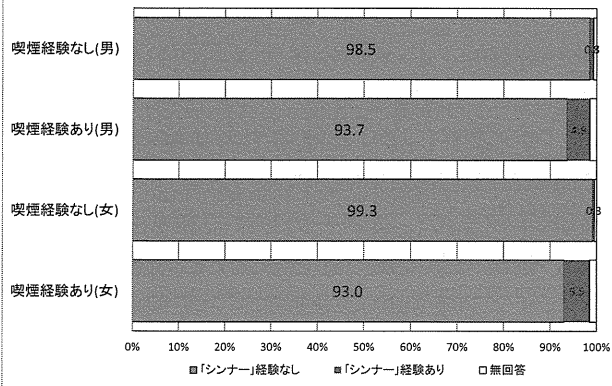


図27 「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻乱用との関係 (2014)

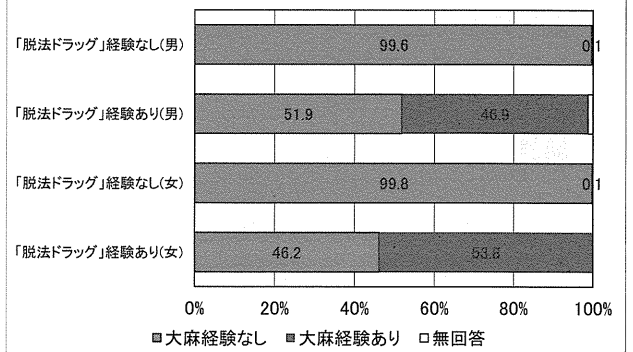
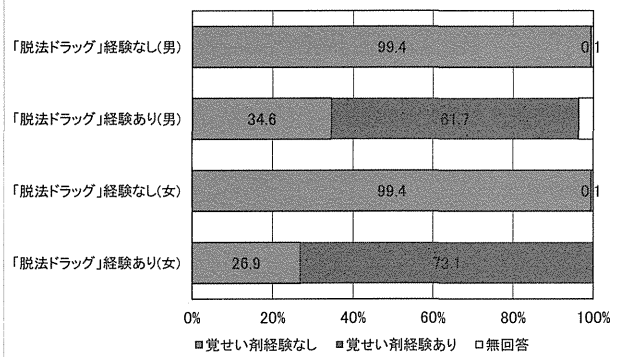


図28 「脱法ドラッグ」乱用経験と覚せい剤乱用との関係 (2014)



法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、男子で46.9%、女子で53.8%であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、男子で61.7%、女子で73.1%にも上るのである。

従来、わが国の中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→有機溶剤・脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」ないしは「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの出現可能性を示唆するものであり、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではないということになる。

「脱法ドラッグ」に関する調査は、2012年と今回の2014年調査の2回のみであるが、この2回の調査での「ゲイトウェイ・ドラッグ」の視点からの結果は同一であり、今後もこの視点からモニタリングを継続する必要がある。

それにしても、図27、図28に見る「脱法ドラッグ」乱用経験と大麻、覚せい剤乱用との関係の強さは恐怖すら覚える結果である。

E. 結論

わが国の中学生における薬物乱用の広がり把握し、特に有機溶剤乱用に関する危険因子を特定することによって、中学生に対する薬物乱用防止対策の基礎資料に供するために、飲酒、喫煙、有機溶剤・大麻・覚せい剤・「脱法ドラッグ」乱用に対する意識・実態調査を実施した。調査期間は、2014年10月中（一部11～12月中）であり、層別一段集落抽出法により選ばれた全国240校の全生徒

を対象に、自記式調査を実施した。その結果、129校（対象校の53.8%）より、55,986人（対象校240校の全生徒想定数の47.0%）の回答を得た。そのうち、有効回答数は55,707人（対象校240校の全生徒想定数の46.8%）であった。

ただし、回答が得られなかった県が3県あり、都道府県毎の回答率には、未だにばらつきがあることをふまえた上で、本調査の結果を利用する必要がある。

このような限界はあるが、以下のような結論を得た。

① 有機溶剤の生涯経験率（これまでに1回でも経験したものと答えた者の割合）は、男子で1.0%（1年生1.0%、2年生1.0%、3年生1.0%）、女子で0.4%（1年生0.4%、2年生0.4%、3年生0.5%）であり、全体では0.7%（1年生0.7%、2年生0.7%、3年生0.8%）であった。この結果は、男女及び全体で最低の値だった2012年調査と比べて、女子では変化がなかったが、男子で0.4ポイント、全体で0.2ポイントの上昇である。全体での生涯経験率の上昇は、男子での生涯経験率の上昇よることは確かだが、2012年調査との比較では、男子における有機溶剤乱用の目撃率は0.1ポイント上昇、身近にいる有機溶剤乱用者の周知率は0.2ポイントの上昇、有機溶剤乱用への被誘惑率は0.1ポイント上昇しており、確かに男子における有機溶剤乱用の増加を伺わせる結果であった。しかし、本研究者らには、中学生男子で有機溶剤乱用が再び広がり始めているという情報はない。そこで考えられるのが、生涯経験率については「ある薬物についてのバイアスが強く働くと、どういう訳かその他の薬物についてのバイアスが低下する傾向がある」という経験である³¹⁾。「脱法ドラッグ」使用者による2014年6月の池袋での死傷者7人をだした自動車運転事故以降、この「脱法ドラッグ」問題が同年秋まで、新聞・テレビで報じられない日はない状況であった。このことが、有機溶剤に対するバイアスを弱めた可能性が否定できない。しかし、成人に比べれば「脱法ドラッグ」の入手が難しいであろう中学生間で、「脱法ドラッグ」に触発されて、有機溶剤に手を出す生徒がいた可能性もある。いずれにしても、今後のモニタリングが必要である。

② 有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比

べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが再確認された。

その背景には、家庭生活のあり方が大きく影響していると考えられる。経験者群では、「親との相談頻度」「家族との夕食頻度」が有意に低く、逆に「大人不在での時間」が有意に長く、親子の共有時間が少ない傾向が再確認された。

③ 結局、有機溶剤経験者群は、相対的に見れば、家庭にも、学校にもなじめず、友人関係も希薄な中学生たちが多く、「居場所のない子供たち」と推測することができよう。

④ また、中学生における喫煙と大人が同伴しない飲酒は、有機溶剤乱用と強い繋がりを持っており、これらは、有機溶剤乱用への「ゲイトウェイ」となっている可能性が再確認された。

⑤ 有機溶剤乱用による健康への害知識の周知率は調査年毎に上昇していたが、2006年をピークに、周知度が減少傾向にあり、薬物乱用防止教育の再度の強化の必要性が示唆された。

⑥ 大麻、覚せい剤の生涯経験者数は無回答者数よりも少なく、その意味では参考データの意味合いが否定できないが、以下の結果を得た。

大麻の生涯経験率は男子で0.3%（1年生0.2%、2年生0.3%、3年生0.3%）、女子で0.1%（1年生0.1%以下%、2年生0.1%、3年生0.2%）、全体では0.2%（1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.2%）であった。この結果は、全体では過去最低の2012年調査の結果と同じであるが、男子、女子では過去最低の値であった。

覚せい剤の生涯経験率は、男子で0.3%（1年生0.3%、2年生0.3%、3年生0.3%）、女子で0.2%（1年生0.1%、2年生0.2%、3年生0.2%）、全体では0.2%（1年生0.2%、2年生0.3%、3年生0.3%）であった。この結果は、全体及び男子では過去最低の2012年調査の結果と同じであるが、女子では過去最低の値であった。

⑦ 「脱法ドラッグ」の生涯経験率（内は2012年調査の結果）は、男子で0.3%（0.3%）（1年生0.2%（0.2%）、2年生0.3%（0.2%）、3年生0.3%（0.5%））、女子で0.1%（0.2%）（1年生0.1%（0.1%）、2年生0.1%（0.1%）、3年生0.1%（0.3%））、全体で0.2%（0.2%）（1年生0.1%（0.1%）、2年生0.2%（0.2%）、3年生0.2%（0.4%））であった。この経験率は、有機溶剤よりは低く、大麻、覚せい剤と同じであると

同時に、2012年調査の結果とも同じであった。2012年調査で危惧された「脱法ドラッグ」乱用の拡大は阻止できたようである。

⑧ 大麻及び覚せい剤乱用による医学的害知識の周知度は、2010年までは経年的に増加していたが、2012年調査で激減傾向を示し、今回の2014年調査ではさらに微減傾向を示していた。薬物乱用防止教育の再強化が強く求められる結果であった。

⑨ 大麻、覚せい剤の入手可能性は2002年から2006年にかけて大きく減少し、その後は横ばい状態である。ただし、大麻入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で16.3%、女子で12.2%、全体で14.3%であるのに対して、経験者群では、男子で33.1%、女子で38.7%、全体で34.9%と明らかに異なっていた（ $p < 0.01$ ）。このことは覚せい剤の入手可能性についても同じであり、覚せい剤入手可能群の割合は、「シンナー遊び」未経験者群では、男子で16.0%、女子で12.4%、全体で14.4%であるのに対して、経験者群では、男性で33.8%、女性で36.9%、全体で35.1%となっていた（ $p < 0.01$ ）。

これらの結果は、わが国の中学生にとって、有機溶剤を乱用すると言うことは、大麻、覚せい剤が身近なものになるという特徴を如実に示している。

「脱法ドラッグ」の入手可能性は、男子、女子、全体で、学年とともに有意差をもって高くなっていった。入手可能とした者は、男子で20.2%（括弧内は2012年調査の結果：16.7%）、女子で15.1%（14.5%）、全体で17.9%（15.6%）であり、2012年調査より、わずかながら多くなっていった。この入手可能性の値は大麻、覚せい剤の入手可能性よりも高く、あたかも有機溶剤の入手可能性を示しているかの感がある（図17）。

⑩ 薬物の乱用経験率には、法の遵守性が大きく影響すると考えられる。喫煙については全体の約4%の者が「少々ならかまわない」を選んでいるのに対して、「シンナー遊び」に関してそれを選んだ者は0.9%に過ぎず、大麻では0.5%であったことは、同じ依存性薬物と言えども、有機溶剤及び大麻乱用への心理的垣根は喫煙よりはるかに高いことを物語っている。

⑪ 喫煙経験者の5.2%（男子で4.9%、女子で5.5%）の者に「シンナー遊び」の経験があった。「シンナー遊び」経験者の12.6%（男子で10.6%、女子で1

6.2%)の者に大麻乱用経験があった。「シンナー遊び」経験者の12.8%(男子で10.2%,女子で17.1%)の者に覚せい剤乱用経験があった。これらにより、喫煙経験と有機溶剤乱用経験,有機溶剤乱用経験と大麻・覚せい剤乱用経験との間には強い関係があることが再確認された。

驚くべきことは、2012年調査同様、「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻・覚せい剤乱用経験の高さである。「脱法ドラッグ」乱用経験者における大麻乱用経験率は、48.6%(男子で46.9%、女子で53.8%)であり、「脱法ドラッグ」乱用経験者における覚せい剤乱用経験率は、65.1%(男子で61.7%、女子で73.1%)にも上った。

従来、わが国での中学生にとっての乱用薬物の順番は、「喫煙→有機溶剤→大麻・覚せい剤」と考えられてきた。しかし、「脱法ドラッグ」の出現は、「喫煙→有機溶剤・脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」ないしは「喫煙→脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」という新しい流れの出現可能性を示唆するものであり、同時に、「脱法ドラッグ→大麻・覚せい剤」の流れは、「有機溶剤→大麻・覚せい剤」の比ではないことを示唆している。このことは2012年調査で初めて示唆されたが、2014年調査でもそれが再確認された。

⑫ 2014年調査で、携帯電話所有の有無と有機溶剤,大麻,覚せい剤,「脱法ドラッグ」乱用の生涯経験との関係を初めて調べたが、携帯電話所有の有無と薬物乱用経験との間には明らかな関係は認められなかった。

⑬ 2014年の本調査結果は、中学生における有機溶剤乱用が再拡大するのかどうか、「脱法ドラッグ」乱用は拡大あるいは収束するのかを監視するための継続的モニタリングの必要,薬物乱用による害知識の周知率向上に向けた薬物乱用防止教育の再強化の必要を示唆する結果であった。

謝辞

本調査研究にご協力いただいた多くの学校関係者、生徒、ならびに、本調査の実施に関して御尽力をいただいた多くの方々に、心よりお礼を述べさせていただきます。

また、調査用紙回収後の膨大な資料整理に協力していただいた、横浜ダルク、川崎ダルク、八王子ダルクの協力者に感謝いたします。

F. 参考文献

- 1) 尾崎 茂、和田 清：全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査。平成16年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)研究報告書「薬物乱用・依存等の実態とその社会的影響・対策に関する研究」(主任研究者：和田 清)。pp.89-126. 2005.
- 2) 和田 清：“Gateway Drug”概念について。日本アルコール・薬物医学会雑誌 34(2)：95-106, 1999.
- 3) Wada,K., Fukui, S.: Demographic and Social Characteristics of Solvent Abuse Patients in Japan. The American Journal on Addictions 3:165-176, 1994.
- 4) Wada,K., Fukui, S.: Prevalence of volatile solvent inhalation among junior high school students in Japan and background life style of users. Addiction 88: 89-100, 1993.
- 5) Wada, K, Price, RK, Fukui, S: Cigarette smoking and solvent use among Japanese adolescents. Drug and Alcohol Dependence 46:137-145, 1997.
- 6) Wada, K, Price, RK, Fukui, S: Reflecting Adult Drinking Culture: Prevalence of Alcohol Use and Drinking Situations among Japanese Junior High School Students in Japan. Journal of Studies on Alcohol 59: 381-386, 1998.
- 7) 和田 清：中学生における飲酒—飲酒文化の反映—。日本アルコール・薬物医学会雑誌 34: 36-48, 1999.
- 8) 和田 清：薬物乱用の現状と歴史。神経精神薬理 19: 913-923, 1997.
- 9) 和田 清、勝野真吾、尾崎米厚、中野良吾：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成8年度厚生科学研究費補助金(麻薬等対策総合研究事業)研究報告書「薬物依存・中毒者の疫学調査及び精神医療サービスに関する研究班」(主任研究者：寺元 弘)第1分冊薬物乱用・依存の多面的疫学調査研究(2)。pp.21-60. 1997.
- 10) 編者 全国学校データ研究所：全国学校総覧2014年版。原書房。東京。2013.

- 11) Wada, K.: Prevalence of Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan and Their Background Lifestyle: Result of Chiba Prefecture Survey 1994. *Japanese Journal of Alcohol Studies and Drug Dependence* 37: 41-56, 2002.
- 12) 和田 清、中野良吾、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査。平成10年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 19-83. 1999.
- 13) 和田 清：中学生における有機溶剤乱用の実態とその生活背景—1992年千葉県調査より—。学校保健研究 43:26-38, 2001.
- 14) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成5年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成5年度研究成果報告書。pp. 27-54. 1994.
- 15) 和田 清：有機溶剤乱用発生の社会的背景—青少年にとり有機溶剤とは何か—。アルコール医療研究 8: 179-184, 1991.
- 16) 和田 清：中学生における飲酒—飲酒文化の反映—。日本アルコール・薬物医学会雑誌34: 36-48, 1999.
- 17) 和田 清：有機溶剤乱用と家族。精神保健研究 7: 13-17, 1994.
- 18) Wada, K.: Lifetime Prevalence of Alcohol Drinking, Cigarette Smoking, and Solvent Inhalation among Junior High School Students in Japan: Tradition and Urbanization. *Japanese Journal of Alcohol Studies and Drug Dependence* 36: 124-141, 2001.
- 19) 和田 清、菊池安希子、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査。平成12年度厚生科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の疫学的研究及び中毒性精神障害者等に対する適切な医療のあり方についての研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 15-76. 2001.
- 20) 和田 清、畢 穎、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2002年）。平成14年度厚生労働科学研究費補助金（医薬安全総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握に関する研究及び社会経済的損失に関する研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 19-86. 2003.
- 21) 和田 清：有機溶剤吸引の入り口としての喫煙：1994年千葉県中学生調査より。学校保健研究45:512-527, 2004.
- 22) 和田 清、近藤あゆみ、高橋伸彰、鈴木紀美子、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2004年）。平成16年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態とその社会的影響・対策に関する研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 17-87. 2005.
- 23) 和田 清、尾崎 茂、近藤あゆみ：薬物乱用・依存の今日的状況と政策的課題。日本アルコール・薬物医学会雑誌43(2): 120-131, 2008.
- 24) 和田 清、近藤あゆみ、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2006年）。平成18年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態と乱用・依存者に対する対応策に関する研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 17-91. 2007
- 25) Kiyoshi Wada: The history and current state of drug abuse in Japan. *Annals of the new York academy of science* 1216: 62-72, 2011.
- 26) 和田 清、嶋根卓也、尾崎米厚、勝野眞吾：薬物乱用に関する全国中学生意識・実態調査（2008年）。平成20年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究」（主任研究者：和田 清）。pp. 15-85. 2009
- 27) 和田 清、舩田正彦、富山健一、青尾直也：脱法ハーブを含む「脱法ドラッグ」乱用とその実態。精神科 22(1): 26-32, 2013.)
- 28) 松本俊彦、谷渕由布子、高野 歩、小林桜児、和田 清：全国の精神科医療施設における薬

物依存研究部関連精神疾患の実態調査. 平成24年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業) 研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状と課題に関する研究」(研究者代表者:和田 清). pp.111-144. 2013.

- 29) 和田 清, 小堀栄子, 嶋根卓也, 立森久照, 勝野眞吾: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査(2010年). 平成22年度厚生労働科学研究費補助金「薬物乱用・依存の実態把握と再乱用防止のための社会資源等の現状と課題に関する研究」(研究者代表者:和田 清). pp.17-87. 2011.
- 30) 和田 清, 水野奈津美, 嶋根卓也, 立森久照, 勝野眞吾: 飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査(2012年). 平成24年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業) 研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握と薬物依存症者に関する制度的社会資源の現状と課題に関する研究」(研究者代表者:和田 清). pp.17-83. 2013.
- 31) 和田 清, 邱 冬梅, 嶋根卓也: 薬物使用に関する全国住民調査. 平成19年度厚生労働科学研究費補助金(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業) 研究報告書「薬物乱用・依存等の実態把握と「回復」に向けての対応策に関する研究」(研究者代表者:和田 清). pp.15-95. 2008.

G. 健康危険情報

本調査結果自体が健康危険情報に関するものである。

H. 研究発表

1. 著書

- 1) 和田 清: 薬物乱用の問題点—医学的視点から 第3回(最終回) 中学生対象の全国調査からわかること. 体と心 保健総合大百科 保健ニュース. 心の健康ニュース 縮刷活用版2013年. 中・高校編. 少年写真新聞社. pp.159-159, 2013. 4. 30.
- 2) 和田 清: 11. 薬物乱用と健康. 現代高等保健体育 教授用参考資料. 大修館書店. pp. 88-95,

2013年4月1日.

- 3) 和田 清: 11. 薬物乱用と健康. 最新高等保健体育 教授用参考資料. 大修館書店. pp. 88-95, 2013年4月1日.

2. 論文発表

- 1) 和田 清, 松本俊彦, 船田正彦, 嶋根卓也, 邱 冬梅: 薬物乱用・依存の疫学. 精神科26(1): 44-49, 2015.
- 2) 和田 清: 我が国の薬物乱用・依存の最近の動向と治療の現状・課題について. 警察学論集 第67巻第12号: 90-112, 2014. 12. 10.
- 3) 和田 清: 巻頭論文 「脱法ドラッグ」乱用の急拡大と求められる薬物乱用防止教育の視点. 教育時報(岡山県教育委員会) 2014年9月号: 4-7, 2014.
- 4) 和田 清: 薬物乱用の若年化? 高齢化?. 学校保健の動向 平成26年度版. 公益財団法人日本学校保健会. pp. 113-113, 2014. 11. 20.
- 5) 和田 清: 子どもの環境と薬物乱用の現状—16年間にわたる中学生調査からみて—. 小児科臨床 66(11): 2179-2184, 2013.
- 6) 和田 清, 船田正彦, 松本俊彦, 嶋根卓也: わが国の薬物乱用・依存の最近の動向—特に「脱法ドラッグ」問題について—. 臨床精神医学 42(9): 1069-1078, 2013.

3. 学会発表

- 1) 和田 清, 水野奈津美, 嶋根卓也: シンポジウム8 「薬物乱用の動向とその防止策」全国の中学生における薬物乱用の実態とその生活背景. 平成25年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会. 岡山コンベンションセンター, 2013. 10. 5.
- 2) 和田 清: 子どもの環境と薬物乱用の現状—若者のたばこ・アルコール・薬物使用の現状と対策. 総合シンポジウム9 子どもの生活環境を考える. 第116回日本小児科学会学術集会. 広島国際会議場. 2013. 4. 19. -4. 21.

I. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

表1 対象校の分布と回答状況

	対象校数	回答校数	実施率(%)		対象校数	回答校数	実施率(%)
北海道	9	2	22.2%	京都	5	2	40.0%
青森	3	1	33.3%	大阪	16	6	37.5%
岩手	3	3	100.0%	兵庫	10	4	40.0%
宮城	4	2	50.0%	奈良	3	1	33.3%
秋田	2	1	50.0%	和歌山	2	1	50.0%
山形	2	1	50.0%	鳥取	2	2	100.0%
福島	4	4	100.0%	島根	2	1	50.0%
茨城	6	5	83.3%	岡山	4	2	50.0%
栃木	4	4	100.0%	広島	5	2	40.0%
群馬	4	4	100.0%	山口	3	1	33.3%
埼玉	12	8	66.7%	徳島	2	2	100.0%
千葉	11	4	36.4%	香川	2	1	50.0%
東京	20	7	35.0%	愛媛	3	2	66.7%
神奈川	15	7	46.7%	高知	2	0	0.0%
新潟	5	2	40.0%	福岡	9	3	33.3%
富山	2	2	100.0%	佐賀	2	2	100.0%
石川	3	0	0.0%	長崎	3	3	100.0%
福井	2	0	0.0%	熊本	4	3	75.0%
山梨	2	1	50.0%	大分	2	2	100.0%
長野	4	4	100.0%	宮崎	3	1	33.3%
岐阜	4	2	50.0%	鹿児島	3	1	33.3%
静岡	7	5	71.4%	沖縄	4	4	100.0%
愛知	14	8	57.1%				
三重	4	4	100.0%				
滋賀	3	2	66.7%	全体	240	129	53.8%

表2 対象の内訳

	1年	2年	3年	合計
男性	9567 (52.4)	9765 (53.5)	10174 (53.0)	29506 (53.0)
女性	8678 (47.5)	8481 (46.4)	8998 (46.9)	26157 (47.0)
無回答	12 (.1)	13 (.1)	19 (.1)	44 (.1)
合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)

表3 これまでに1回でも「シンナー遊び」を経験したことがある率（生涯経験率）

		1年	2年	3年	合計
男性	経験なし	9359 (97.8)	9590 (98.2)	9982 (98.1)	28931 (98.1)
	経験あり	90 (.9)	94 (1.0)	100 (1.0)	284 (1.0)
	無回答	118 (1.2)	81 (.8)	92 (.9)	291 (1.0)
	合計	9567 (100.0)	9765 (100.0)	10174 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 0.079$, $df = 2$, $p = 0.961$)					
女性	経験なし	8582 (98.9)	8399 (99.0)	8920 (99.1)	25901 (99.0)
	経験あり	32 (.4)	38 (.4)	41 (.5)	111 (.4)
	無回答	64 (.7)	44 (.5)	37 (.4)	145 (.6)
	合計	8678 (100.0)	8481 (100.0)	8998 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 0.930$, $df = 2$, $p = 0.628$)					
全体	経験なし	17953 (98.3)	18001 (98.6)	18918 (98.6)	54872 (98.5)
	経験あり	122 (.7)	133 (.7)	143 (.7)	398 (.7)
	無回答	182 (1.0)	125 (.7)	130 (.7)	437 (.8)
	合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 0.802$, $df = 2$, $p = 0.670$)					

表4 この1年間に「シンナー遊び」を1回でも経験したことがある率(1年経験率)

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	9427 (98.5)	9660 (98.9)	10043 (98.7)	29130 (98.7)
	ある	70 (.7)	67 (.7)	84 (.8)	221 (.7)
	無回答	70 (.7)	38 (.4)	47 (.5)	155 (.5)
	合計	9567 (100.0)	9765 (100.0)	10174 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 1.361, df = 2, p = 0.506$)					
女性	ない	8620 (99.3)	8425 (99.3)	8950 (99.5)	25995 (99.4)
	ある	23 (.3)	30 (.4)	34 (.4)	87 (.3)
	無回答	35 (.4)	26 (.3)	14 (.2)	75 (.3)
	合計	8678 (100.0)	8481 (100.0)	8998 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 1.842, df = 2, p = 0.398$)					
全体	ない	18059 (98.9)	18097 (99.1)	19011 (99.1)	55167 (99.0)
	ある	93 (.5)	98 (.5)	119 (.6)	310 (.6)
	無回答	105 (.6)	64 (.4)	61 (.3)	230 (.4)
	合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 2.216, df = 2, p = 0.330$)					

表5 「シンナー遊び」を実際に見たことがありますか？

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	9277 (97.0)	9532 (97.6)	9912 (97.4)	28721 (97.3)
	ある	220 (2.3)	191 (2.0)	209 (2.1)	620 (2.1)
	無回答	70 (.7)	42 (.4)	53 (.5)	165 (.6)
	合計	9567 (100.0)	9765 (100.0)	10174 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 3.052, df = 2, p = 0.217$)					
女性	ない	8525 (98.2)	8343 (98.4)	8862 (98.5)	25730 (98.4)
	ある	118 (1.4)	112 (1.3)	121 (1.3)	351 (1.3)
	無回答	35 (.4)	26 (.3)	15 (.2)	76 (.3)
	合計	8678 (100.0)	8481 (100.0)	8998 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 0.053, df = 2, p = 0.974$)					
全体	ない	17813 (97.6)	17887 (98.0)	18792 (97.9)	54492 (97.8)
	ある	339 (1.9)	304 (1.7)	331 (1.7)	974 (1.7)
	無回答	105 (.6)	68 (.4)	68 (.4)	241 (.4)
	合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 2.138, df = 2, p = 0.343$)					

表6 身近に「シンナー遊び」をしている人がいますか？

		1年	2年	3年	合計
男性	いない	9381 (98.1)	9593 (98.2)	9981 (98.1)	28955 (98.1)
	いる	111 (1.2)	124 (1.3)	135 (1.3)	370 (1.3)
	無回答	75 (.8)	48 (.5)	58 (.6)	181 (.6)
	合計	9567 (100.0)	9765 (100.0)	10174 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 1.096, df = 2, p = 0.578$)					
女性	いない	8558 (98.6)	8386 (98.9)	8907 (99.0)	25851 (98.8)
	いる	87 (1.0)	72 (.8)	71 (.8)	230 (.9)
	無回答	33 (.4)	23 (.3)	20 (.2)	76 (.3)
	合計	8678 (100.0)	8481 (100.0)	8998 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 2.475, df = 2, p = 0.290$)					
全体	いない	17951 (98.3)	17991 (98.5)	18904 (98.5)	54846 (98.5)
	いる	198 (1.1)	197 (1.1)	209 (1.1)	604 (1.1)
	無回答	108 (.6)	71 (.4)	78 (.4)	257 (.5)
	合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 0.010, df = 2, p = 0.995$)					

表7 「シンナー遊び」に誘われた経験

		1年	2年	3年	合計
男性	ない	9351 (97.7)	9575 (98.1)	9936 (97.7)	28862 (97.8)
	ある	87 (.9)	81 (.8)	103 (1.0)	271 (.9)
	無回答	129 (1.3)	109 (1.1)	135 (1.3)	373 (1.3)
	合計	9567 (100.0)	9765 (100.0)	10174 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 1.881, df = 2, p = 0.390$)					
女性	ない	8486 (97.8)	8334 (98.3)	8858 (98.4)	25678 (98.2)
	ある	58 (.7)	52 (.6)	49 (.5)	159 (.6)
	無回答	134 (1.5)	95 (1.1)	91 (1.0)	320 (1.2)
	合計	8678 (100.0)	8481 (100.0)	8998 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 1.186, df = 2, p = 0.553$)					
全体	ない	17849 (97.8)	17921 (98.1)	18812 (98.0)	54582 (98.0)
	ある	145 (.8)	134 (.7)	153 (.8)	432 (.8)
	無回答	263 (1.4)	204 (1.1)	226 (1.2)	693 (1.2)
	合計	18257 (100.0)	18259 (100.0)	19191 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 0.640, df = 2, p = 0.726$)					

表8 「シンナー遊び」についてどう思いますか？(法の遵守)

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	法律で禁止されているからすべきではない	28301 (97.8)	222 (78.2)	168 (57.7)	28691 (97.2)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	263 (.9)	30 (10.6)	2 (.7)	295 (1.0)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	254 (.9)	29 (10.2)	2 (.7)	285 (1.0)
	無回答	113 (.4)	3 (1.1)	119 (40.9)	235 (.8)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
	($\chi^2 = 528.862, df = 2, p < 0.001$)				
女性	法律で禁止されているからすべきではない	25626 (98.9)	75 (67.6)	81 (55.9)	25782 (98.6)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	162 (.6)	17 (15.3)	2 (1.4)	181 (.7)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	64 (.2)	19 (17.1)	0 (.0)	83 (.3)
	無回答	49 (.2)	0 (.0)	62 (42.8)	111 (.4)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
	($\chi^2 = 1340.892, df = 2, p < 0.001$)				
全体	法律で禁止されているからすべきではない	53963 (98.3)	297 (74.6)	250 (57.2)	54510 (97.9)
	法律で禁止されてはいるが少々なら構わない	427 (.8)	48 (12.1)	4 (.9)	479 (.9)
	法律で禁止されてはいるが守る必要は全然ない	319 (.6)	50 (12.6)	2 (.5)	371 (.7)
	無回答	163 (.3)	3 (.8)	181 (41.4)	347 (.6)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
	($\chi^2 = 1464.097, df = 2, p < 0.001$)				

表9 法律で「シンナー遊び」を禁止しているのをどう思いますか？（法規則の必要性）

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	当然だと思う	27071 (93.6)	206 (72.5)	165 (56.7)	27442 (93.0)
	仕方がないことだと思う	1019 (3.5)	25 (8.8)	8 (2.7)	1052 (3.6)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	80 (.3)	13 (4.6)	1 (.3)	94 (.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	657 (2.3)	35 (12.3)	6 (2.1)	698 (2.4)
	無回答	104 (.4)	5 (1.8)	111 (38.1)	220 (.7)
合計		28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 323.100$, $df = 3$, $p < 0.001$)					
女性	当然だと思う	24872 (96.0)	71 (64.0)	76 (52.4)	25019 (95.6)
	仕方がないことだと思う	645 (2.5)	13 (11.7)	3 (2.1)	661 (2.5)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	46 (.2)	8 (7.2)	0 (.0)	54 (.2)
	法律で決める必要はなく個人の自由	282 (1.1)	17 (15.3)	3 (2.1)	302 (1.2)
	無回答	56 (.2)	2 (1.8)	63 (43.4)	121 (.5)
合計		25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 514.791$, $df = 3$, $p < 0.001$)					
全体	当然だと思う	51978 (94.7)	277 (69.6)	242 (55.4)	52497 (94.2)
	仕方がないことだと思う	1665 (3.0)	38 (9.5)	11 (2.5)	1714 (3.1)
	麻薬・覚せい剤と違ってシンナーくらい禁止しなくてもいい	127 (.2)	21 (5.3)	1 (.2)	149 (.3)
	法律で決める必要はなく個人の自由	941 (1.7)	55 (13.8)	9 (2.1)	1005 (1.8)
	無回答	161 (.3)	7 (1.8)	174 (39.8)	342 (.6)
合計		54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 788.955$, $df = 3$, $p < 0.001$)					

表10「シンナー遊び」をしている人についてどう思いますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	自分には無関係の人	28072 (97.0)	205 (72.2)	158 (54.3)	28435 (96.4)
	シンナー遊びをする気持ち	396 (1.4)	37 (13.0)	6 (2.1)	439 (1.5)
	が理解できる気がする	94 (.3)	35 (12.3)	2 (.7)	131 (.4)
	親しみを感じる	369 (1.3)	7 (2.5)	125 (43.0)	501 (1.7)
	無回答	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 1207.151$, $df = 2$, $p < 0.001$)					
女性	自分には無関係の人	25303 (97.7)	66 (59.5)	73 (50.3)	25442 (97.3)
	シンナー遊びをする気持ち	368 (1.4)	25 (22.5)	2 (1.4)	395 (1.5)
	が理解できる気がする	31 (.1)	17 (15.3)	0 (.0)	48 (.2)
	親しみを感じる	199 (.8)	3 (2.7)	70 (48.3)	272 (1.0)
	無回答	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 1759.323$, $df = 2$, $p < 0.001$)					
全体	自分には無関係の人	53414 (97.3)	271 (68.1)	232 (53.1)	53917 (96.8)
	シンナー遊びをする気持ち	765 (1.4)	63 (15.8)	8 (1.8)	836 (1.5)
	が理解できる気がする	125 (.2)	54 (13.6)	2 (.5)	181 (.3)
	親しみを感じる	568 (1.0)	10 (2.5)	195 (44.6)	773 (1.4)
	無回答	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 2796.643$, $df = 2$, $p < 0.001$)					

表11 「シンナー遊び」による急性中毒死を知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	16428 (56.8)	157 (55.3)	108 (37.1)	16693 (56.6)
	知らない	12467 (43.1)	126 (44.4)	81 (27.8)	12674 (43.0)
	無回答	36 (.1)	1 (.4)	102 (35.1)	139 (.5)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
$(\chi^2 = 0.217, df = 1, p = 0.642)$					
女性	知っている	15330 (59.2)	62 (55.9)	54 (37.2)	15446 (59.1)
	知らない	10556 (40.8)	48 (43.2)	38 (26.2)	10642 (40.7)
	無回答	15 (.1)	1 (.9)	53 (36.6)	69 (.3)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
$(\chi^2 = 0.370, df = 1, p = 0.543)$					
全体	知っている	31786 (57.9)	222 (55.8)	163 (37.3)	32171 (57.8)
	知らない	23035 (42.0)	174 (43.7)	119 (27.2)	23328 (41.9)
	無回答	51 (.1)	2 (.5)	155 (35.5)	208 (.4)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
$(\chi^2 = 0.595, df = 1, p = 0.440)$					

表12 「シンナー遊び」を繰り返すと歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	17592 (60.8)	167 (58.8)	104 (35.7)	17863 (60.5)
	知らない	11289 (39.0)	117 (41.2)	83 (28.5)	11489 (38.9)
	無回答	50 (.2)	0 (.0)	104 (35.7)	154 (.5)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
$(\chi^2 = 0.525, df = 1, p = 0.469)$					
女性	知っている	16933 (65.4)	69 (62.2)	51 (35.2)	17053 (65.2)
	知らない	8937 (34.5)	41 (36.9)	41 (28.3)	9019 (34.5)
	無回答	31 (.1)	1 (.9)	53 (36.6)	85 (.3)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
$(\chi^2 = 0.360, df = 1, p = 0.548)$					
全体	知っている	34552 (63.0)	239 (60.1)	156 (35.7)	34947 (62.7)
	知らない	20238 (36.9)	158 (39.7)	124 (28.4)	20520 (36.8)
	無回答	82 (.1)	1 (.3)	157 (35.9)	240 (.4)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
$(\chi^2 = 1.385, df = 1, p = 0.239)$					

表13 「シンナー遊び」を繰り返すと多発神経炎になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	16878 (58.3)	164 (57.7)	97 (33.3)	17139 (58.1)
	知らない	12022 (41.6)	120 (42.3)	94 (32.3)	12236 (41.5)
	無回答	31 (.1)	0 (.0)	100 (34.4)	131 (.4)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
$(\chi^2 = 0.050, df = 1, p = 0.824)$					
女性	知っている	16327 (63.0)	60 (54.1)	53 (36.6)	16440 (62.9)
	知らない	9551 (36.9)	50 (45.0)	39 (26.9)	9640 (36.9)
	無回答	23 (.1)	1 (.9)	53 (36.6)	77 (.3)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
$(\chi^2 = 3.435, df = 1, p = 0.064)$					
全体	知っている	33235 (60.6)	227 (57.0)	151 (34.6)	33613 (60.3)
	知らない	21583 (39.3)	170 (42.7)	133 (30.4)	21886 (39.3)
	無回答	54 (.1)	1 (.3)	153 (35.0)	208 (.4)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
$(\chi^2 = 1.964, df = 1, p = 0.161)$					

表14 「シンナー遊び」を繰り返すと精神病状態になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	21886 (75.6)	194 (68.3)	127 (43.6)	22207 (75.3)
	知らない	7021 (24.3)	90 (31.7)	64 (22.0)	7175 (24.3)
	無回答	24 (.1)	0 (.0)	100 (34.4)	124 (.4)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 8.362, df = 1, p = 0.004$)					
女性	知っている	21061 (81.3)	72 (64.9)	63 (43.4)	21196 (81.0)
	知らない	4829 (18.6)	38 (34.2)	29 (20.0)	4896 (18.7)
	無回答	11 (.0)	1 (.9)	53 (36.6)	65 (.2)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 18.185, df = 1, p < 0.001$)					
全体	知っている	42978 (78.3)	269 (67.6)	191 (43.7)	43438 (78.0)
	知らない	11859 (21.6)	128 (32.2)	93 (21.3)	12080 (21.7)
	無回答	35 (.1)	1 (.3)	153 (35.0)	189 (.3)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 26.141, df = 1, p < 0.001$)					

表15 「シンナー遊び」を繰り返すと無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	13599 (47.0)	138 (48.6)	92 (31.6)	13829 (46.9)
	知らない	15015 (51.9)	139 (48.9)	157 (54.0)	15311 (51.9)
	無回答	317 (1.1)	7 (2.5)	42 (14.4)	366 (1.2)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 0.579, df = 1, p = 0.447$)					
女性	知っている	13700 (52.9)	56 (50.5)	49 (33.8)	13805 (52.8)
	知らない	12036 (46.5)	54 (48.6)	63 (43.4)	12153 (46.5)
	無回答	165 (.6)	1 (.9)	33 (22.8)	199 (.8)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 0.238, df = 1, p = 0.626$)					
全体	知っている	27323 (49.8)	196 (49.2)	142 (32.5)	27661 (49.7)
	知らない	27064 (49.3)	194 (48.7)	220 (50.3)	27478 (49.3)
	無回答	485 (.9)	8 (2.0)	75 (17.2)	568 (1.0)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 0.000, df = 1, p = 0.994$)					

表16 「シンナー遊び」の結果、フラッシュバックが起こることがあるのを知っていますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	知っている	16615 (57.4)	152 (53.5)	134 (46.0)	16901 (57.3)
	知らない	11919 (41.2)	125 (44.0)	118 (40.5)	12162 (41.2)
	無回答	397 (1.4)	7 (2.5)	39 (13.4)	443 (1.5)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 1.269, df = 1, p = 0.260$)					
女性	知っている	15973 (61.7)	64 (57.7)	58 (40.0)	16095 (61.5)
	知らない	9748 (37.6)	46 (41.4)	52 (35.9)	9846 (37.6)
	無回答	180 (.7)	1 (.9)	35 (24.1)	216 (.8)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 0.715, df = 1, p = 0.398$)					
全体	知っている	32613 (59.4)	219 (55.0)	193 (44.2)	33025 (59.3)
	知らない	21679 (39.5)	171 (43.0)	170 (38.9)	22020 (39.5)
	無回答	580 (1.1)	8 (2.0)	74 (16.9)	662 (1.2)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 2.475, df = 1, p = 0.116$)					

表17 あなたの起床時間はほぼ一定していますか？(生涯シンナー乱用)

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	はい	24230 (83.8)	209 (73.6)	230 (79.0)	24669 (83.6)
	いいえ	4647 (16.1)	74 (26.1)	59 (20.3)	4780 (16.2)
	無回答	54 (.2)	1 (.4)	2 (.7)	57 (.2)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 20.886, df = 1, p < 0.001$)					
女性	はい	22027 (85.0)	74 (66.7)	114 (78.6)	22215 (84.9)
	いいえ	3836 (14.8)	37 (33.3)	30 (20.7)	3903 (14.9)
	無回答	38 (.1)	0 (.0)	1 (.7)	39 (.1)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 29.819, df = 1, p < 0.001$)					
全体	はい	46282 (84.3)	286 (71.9)	345 (78.9)	46913 (84.2)
	いいえ	8493 (15.5)	111 (27.9)	89 (20.4)	8693 (15.6)
	無回答	97 (.2)	1 (.3)	3 (.7)	101 (.2)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 46.446, df = 1, p < 0.001$)					

表18 あなたの就寝時間はほぼ一定していますか？(生涯シンナー乱用)

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	はい	17495 (60.5)	138 (48.6)	180 (61.9)	17813 (60.4)
	いいえ	11335 (39.2)	145 (51.1)	109 (37.5)	11589 (39.3)
	無回答	101 (.3)	1 (.4)	2 (.7)	104 (.4)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 16.673, df = 1, p < 0.001$)					
女性	はい	15284 (59.0)	35 (31.5)	77 (53.1)	15396 (58.9)
	いいえ	10548 (40.7)	75 (67.6)	67 (46.2)	10690 (40.9)
	無回答	69 (.3)	1 (.9)	1 (.7)	71 (.3)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 33.881, df = 1, p < 0.001$)					
全体	はい	32794 (59.8)	176 (44.2)	258 (59.0)	33228 (59.6)
	いいえ	21902 (39.9)	220 (55.3)	176 (40.3)	22298 (40.0)
	無回答	176 (.3)	2 (.5)	3 (.7)	181 (.3)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 39.369, df = 1, p < 0.001$)					

表19 毎朝、朝食を食べていますか？(生涯シンナー乱用)

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	ほとんど毎日食べている	25896 (89.5)	232 (81.7)	256 (88.0)	26384 (89.4)
	時々食べる	1992 (6.9)	26 (9.2)	21 (7.2)	2039 (6.9)
	ほとんど食べない	992 (3.4)	25 (8.8)	12 (4.1)	1029 (3.5)
	無回答	51 (.2)	1 (.4)	2 (.7)	54 (.2)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 27.398, df = 2, p < 0.001$)					
女性	ほとんど毎日食べている	23336 (90.1)	84 (75.7)	123 (84.8)	23543 (90.0)
	時々食べる	1822 (7.0)	13 (11.7)	13 (9.0)	1848 (7.1)
	ほとんど食べない	700 (2.7)	11 (9.9)	8 (5.5)	719 (2.7)
	無回答	43 (.2)	3 (2.7)	1 (.7)	47 (.2)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 27.610, df = 2, p < 0.001$)					
全体	ほとんど毎日食べている	49262 (89.8)	319 (80.2)	380 (87.0)	49961 (89.7)
	時々食べる	3818 (7.0)	39 (9.8)	34 (7.8)	3891 (7.0)
	ほとんど食べない	1695 (3.1)	36 (9.0)	20 (4.6)	1751 (3.1)
	無回答	97 (.2)	4 (1.0)	3 (.7)	104 (.2)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 53.823, df = 2, p < 0.001$)					

表20 あなたにとって、学校生活は次のどれですか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	とても楽しい	13486 (46.6)	97 (34.2)	133 (45.7)	13716 (46.5)
	どちらかといえば楽しい	12195 (42.2)	123 (43.3)	119 (40.9)	12437 (42.2)
	あまり楽しくない	2367 (8.2)	34 (12.0)	26 (8.9)	2427 (8.2)
	まったく楽しくない	830 (2.9)	29 (10.2)	11 (3.8)	870 (2.9)
	無回答	53 (.2)	1 (.4)	2 (.7)	56 (.2)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 66.071$, $df = 3$, $p < 0.001$)					
女性	とても楽しい	12031 (46.4)	39 (35.1)	59 (40.7)	12129 (46.4)
	どちらかといえば楽しい	10773 (41.6)	41 (36.9)	63 (43.4)	10877 (41.6)
	あまり楽しくない	2475 (9.6)	14 (12.6)	17 (11.7)	2506 (9.6)
	まったく楽しくない	573 (2.2)	17 (15.3)	6 (4.1)	596 (2.3)
	無回答	49 (.2)	0 (.0)	0 (.0)	49 (.2)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 88.202$ $df = 3$, $p < 0.001$)					
全体	とても楽しい	25535 (46.5)	136 (34.2)	193 (44.2)	25864 (46.4)
	どちらかといえば楽しい	22980 (41.9)	166 (41.7)	182 (41.6)	23328 (41.9)
	あまり楽しくない	4846 (8.8)	48 (12.1)	43 (9.8)	4937 (8.9)
	まったく楽しくない	1407 (2.6)	47 (11.8)	17 (3.9)	1471 (2.6)
	無回答	104 (.2)	1 (.3)	2 (.5)	107 (.2)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 146.123$, $df = 3$, $p < 0.001$)					

表21 クラブ活動（部活）には参加していますか？

		生涯シンナー乱用経験			合計
		経験なし	経験あり	無回答	
男性	積極的に参加している	20687 (71.5)	180 (63.4)	202 (69.4)	21069 (71.4)
	消極的に参加している	3047 (10.5)	34 (12.0)	33 (11.3)	3114 (10.6)
	参加していない	5008 (17.3)	69 (24.3)	54 (18.6)	5131 (17.4)
	無回答	189 (.7)	1 (.4)	2 (.7)	192 (.7)
	合計	28931 (100.0)	284 (100.0)	291 (100.0)	29506 (100.0)
($\chi^2 = 11.014$, $df = 2$, $p = 0.004$)					
女性	積極的に参加している	18878 (72.9)	68 (61.3)	103 (71.0)	19049 (72.8)
	消極的に参加している	2447 (9.4)	17 (15.3)	18 (12.4)	2482 (9.5)
	参加していない	4411 (17.0)	23 (20.7)	22 (15.2)	4456 (17.0)
	無回答	165 (.6)	3 (2.7)	2 (1.4)	170 (.6)
	合計	25901 (100.0)	111 (100.0)	145 (100.0)	26157 (100.0)
($\chi^2 = 7.049$, $df = 2$, $p = 0.029$)					
全体	積極的に参加している	39588 (72.1)	248 (62.3)	305 (69.8)	40141 (72.1)
	消極的に参加している	5498 (10.0)	52 (13.1)	51 (11.7)	5601 (10.1)
	参加していない	9428 (17.2)	94 (23.6)	77 (17.6)	9599 (17.2)
	無回答	358 (.7)	4 (1.0)	4 (.9)	366 (.7)
	合計	54872 (100.0)	398 (100.0)	437 (100.0)	55707 (100.0)
($\chi^2 = 18.513$, $df = 2$, $p < 0.001$)					